

工事作業省力化機器や部材 広がる活躍現場

動きがあるほか「リフトのある現場なら入りたい」との声も少なく、人手確保のため採用に踏み切る現場が増えている。同社では「作業安全にも効果的なので、今の動きが業界に定着してくれば」と期待する。

コンクリート構造物の品質向上は社会インフラの長期使用の観点から重要だ。耐久性をあげるには打ち込み後の初期段階にコンクリートを湿潤な状態に保つのが有効である。しかし散水による養生には頻繁な作業を要する。一般的なスポンジ製養生マットは鉛直面の保水に問題があり、水を含むと非常に重くなる。

施工管理の効率化と品質向上の面から東亜建設工業とクラボウが共同開発したコンクリート湿潤養生マット「モイスマット」に注目が集まっている。2月には国土交通省の新技术情報提供システム「NETIS」にも登録された。不織布にフィルムをラミネートした構造で軽く、鉛直面にも密着して長く湿潤を保つ。コンクリート表面を緻密化するほか、塩化物イオンの浸透や中性化への抵抗性も向上し耐久性が高まるという。

厚さ約7ミリのマットに高機能を実現するにはクラボウが衣料分野で培った繊維改質技術が威力を発揮した。保水物質は電子線ドラフト重合によって不織布の繊維に分子レベルで結合。高い保水力で散水作業を減らすほか耐久性にも優れ繰り返し利用が可能だ。異業種の知恵が新たな潮流を起こそうとしている。

この状況を背景に省力化機器や部材を活用する機運も広がっている。仮設機材メーカーの三共では、荷揚げ作業を軽減する建設用小型リフトへの引き合いが「ここ1年で倍増した」と話す。同社のリフトは積載荷重を抑えコンパクト化。100ボルト電源で動くなど設置のハードルを下げた。9階程度まで昇降が可能で、大型リフトを設けにくい物件でも対応する。

建設産業



三共の建設用小型リフト

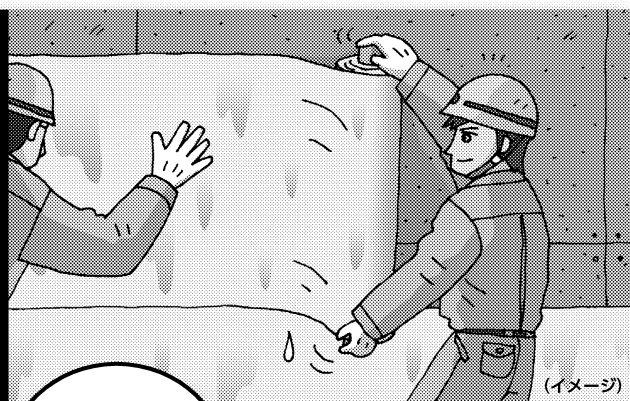
コンクリート構造物でお困りのみなさまへ

施工時
「垂直面への湿潤養生がたいへん…」

点検時
「クラックを見つけにくい」

そこで! 高い保水性と密着性で垂直面のコンクリートの品質を向上!

コンクリート湿潤養生マット
◀クラボウ
モイスマット®



(イメージ)

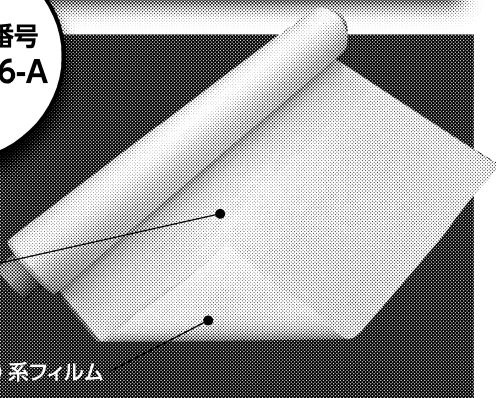
「モイスマット®」は新設のコンクリートの品質を向上させる湿潤養生マットです。

- 【特長】
- 薄くても優れた保水力
 - 良く密着し垂直面への作業性も良好
 - 湿潤時でも軽量で持ち運びしやすい
 - 薄くコンパクトに保管
 - 10回程度繰り返し使用可能 ※クラボウ調べ

NETIS登録番号
KK-130046-A

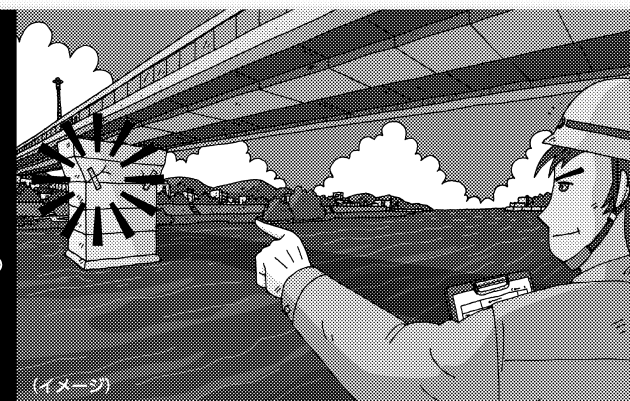
保水性を付与した
レーヨン/
オレフィン不織布

蒸発を抑える
ポリプロピレン (PP) 系フィルム



そこで! 微小なひび割れを目視で簡単確認!

コンクリート構造物のクラック検知ツール
KK CRACK SENSOR®
KK クラックセンサ®



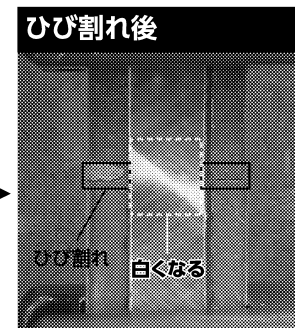
(イメージ)

「KK クラックセンサ®」はコンクリートのひび割れの進展を可視化するツールです。

- 【特長】
- 見た目検知
 - 測定機器・電源不要でモニタリング
 - 20m先からでもひび割れチェック ※クラボウ調べ
 - 閉じたひび割れ箇所もわかる
 - ひび割れの微小な動きに反応



コンクリート



ひび割れ 白くなる